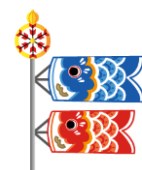


御成中学校 学校だより



桐葉だより



学校教育目標

明朗、思いやり

自主自律

御成中ホームページ



☆部活動本入部



桜満開の入学式・始業式から一カ月が経ちました。雨の中出発した二年生のキャンプも何とか無事に終了し、大型連休で子どもも大人も一息といったところです。

連休明けの五月七日には一年生も部活動に本入部することになります。中学生としての三年間、自分自身の大切な時間をどう過ごしたいのかを各自がしっかりと考え、家族とも相談をした上で、決定してください。実際に活動するのは生徒自身ですが、そのためにはご家族の協力も必要です。始めたからには、三年間継続することが前提となりますので、「〇〇部に決めている」という場合も、さまざまな角度から気持ちを確かめてみて欲しいと思います。

本校の部活動は全入制ではありませんので、「とりあえず入る」のではなく、目的をもって、自分に合った選択をしてください。ご不明な点がありましたら、学校までお問い合わせください。

☆桐の葉陰く授業の様子く

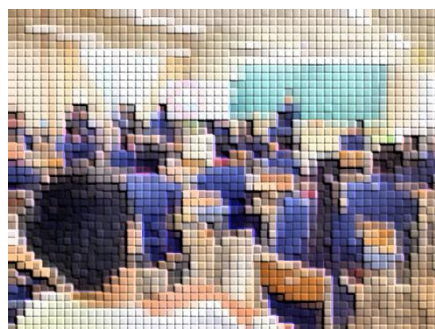
一年生の「英語」の授業では、ALT（外国語指導助手）の〇〇〇〇先生（みんなは〇〇〇〇先生と呼びます）と一緒に笑顔いっぱいの学習活動が繰り広げられていました。最初は、〇〇〇〇先生のパワーに押され気味だった生徒も、先生の上手なリードで、先生や友達とのやり取りを楽しんでいました。英語で会話をしているけれども、「英語」を使わなければと構えるのではなく、「伝えたい」という気持ちで大切にしたコミュニケーションが、生徒たちの主体的な学びを引き出していると感じました。



三年生の「英語」の授業では、英語を使った自己紹介に取り組んでいました。各自が原稿をもとに、練習をしてから、みんなの前に立って表情豊かに話す様子はとても素敵でした。生徒たちの姿は「暗唱」ではなく、話す側の「伝えたい」という気持ちと、聴く側の笑顔と共感する気持ちが行き来する、コミュニケーションを主体的に楽しむ姿となっていました。

大勢の前で「英語」を話すことへのハードルが高い生徒もいるはずですが、みんなの前に歩み出る仲間に「頑張れ」と声をかけたり、言葉に詰まってしまった仲間を応援したりする温かい雰囲気は、共に学び、高め合うための大切な要素だと改めて感じる事ができました。このような生徒たちの学びの姿は、等身大のチャレンジが次の成長につながることを証明しているようでした。

-ing/to... -ing/to...
like remember
be see stop continue
would like



☆尊重し合うこと



中学生は、まさに大人と子どもの間を行き来する時期だと思えます。中学生に関わる大人ならず、ずいぶん大人っぽくなったものだと思った次の瞬間、まだまだ甘えた年頃なのだと感じるといった経験を一度はしたことがあるのではないのでしょうか。

大人への階段を着実に上っているにもかかわらず、大人と子どもとの境目はないので、子どもたち自身はそのことに気づかず、なんだかモヤモヤする、それが反抗期なのではないかと思えます。

今までは、コミュニケーションツールの一つであったスキンシップも、なんだか鬱陶しくなったりしてきます。

肩を組んだり、頭をなでたり、抱きついたり、幼いころは遊びの流れで親愛の情を示していた行動も、成長するにつれて違った意味をもってきます。聞いたことで済むことが、互いの力が強くなれば「ごっこ」では済まされなくなるのは当然です。

人と人との良好な関係作りには、互いを尊重し合うことが大切です。大人への階段を上っている中学生には、それにふさわしいコミュニケーションツールを身に付けていくことが必要です。